

# 生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)について

ユネスコが1976年（昭和51年）に開始した、生物圏保存地域※（国内呼称：ユネスコエコパーク）は、ユネスコ自然科学セクターのユネスコ人間と生物圏（MAB：Man and the Biosphere）計画の枠組みに基づいて国際的に認定された地域。

※英名： Biosphere Reserves (BR)

世界自然遺産が、顕著な普遍的価値を有する自然地域を保護・保全するのが目的であるのに対し、ユネスコエコパークは、生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としており、保護・保全だけでなく自然と人間社会の共生に重点が置かれている。

登録総数は、122か国、686地域（2018年（平成30年）7月現在）。

## ユネスコエコパークの機能

1. 保存機能（生物多様性の保全）
2. 経済と社会の発展
3. 学術的研究支援

個々の機能は独立のものではなく、ユネスコエコパークの機能を相互に強化する関係。この三つの機能を達成するためエコパークの中に、相互に依存する右の三つの区域を設定。

## 核心地域

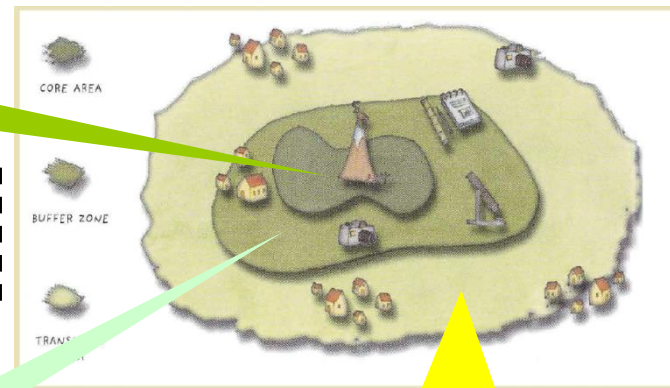
厳格に保護  
長期的に保全

## 緩衝地域

核心地域を保護するための緩衝的な地域  
教育、研修、エコツーリズムに活用

## 移行地域

人が生活し、自然と調和した持続可能な発展を実現する地域



# 国内のユネスコエコパーク

- 日本のユネスコエコパークは以下の10か所である。(2019年(令和元年)6月現在。) それらの核心地域や緩衝地域は、国立・国定公園や国有林の保護林として保全されている。

- |                |   |
|----------------|---|
| 1980年(昭和55年)登録 | 「志賀高原」(長野県、群馬県)、「白山」(富山県、石川県、福井県、岐阜県)     |
| 2012年(平成24年)登録 | 「大台ヶ原・大峯山・大杉谷」(奈良県、三重県)、「屋久島・口永良部島」(鹿児島県) |
| 2014年(平成26年)登録 | 「綾」(宮崎県)                                  |
| 2017年(平成29年)登録 | 「只見」(福島県)、「南アルプス」(山梨県、長野県、静岡県)            |
| 2019年(令和元年)登録  | 「祖母・傾・大崩」(宮崎県、大分県)、「みなかみ」(群馬県、新潟県)        |
|                | 「甲武信」(山梨県、埼玉県、長野県、東京都)                    |



白山火山(©白山市)



祖母山(©高野弘之)



縄文杉(©屋久島町)



照葉樹林(©綾町)



大杉谷峡谷シシ淵(©大台町)



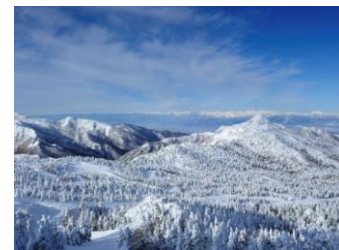
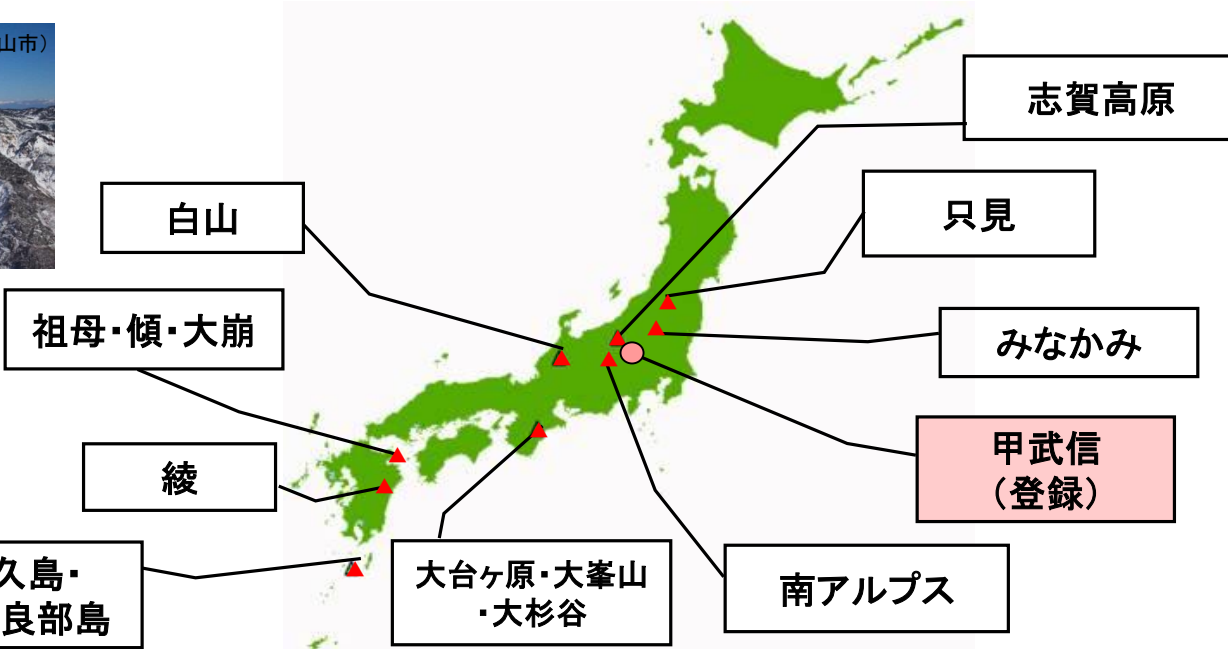
甲斐駒ヶ岳と水田(©南アルプス市)



西沢渓谷(©山梨市)



ブナ天然林(©只見町)



志賀高原(©山ノ内町)



利根川のラフティング(©みなかみ町)